

第778回栃木県選挙管理委員会会議録

1 日 時 令和8年2月18日（水） 午後2時00分から午後3時13分まで

2 場 所 県庁本館8階 選挙管理委員会室

3 出席者 委員長 金田 尊 男
委員 青田 賢 之
委員 松永 安優美
委員 杉田 明 子
書記長 山口 弘 美
書記長代理 大根田 守
選挙係長 吉澤 滋
主任 大塚 博 人
書記 店網 有 哉
書記 黒後 達 也

4 付議事件

(1) 議題

議案第1号 衆議院小選挙区選出議員選挙（栃木県第1区から第5区）に係る選挙無効請求事件の処理方針について

(1) 協議事項

（仮称）栃木県投票率向上推進プラン（第1次素案）について

(2) 報告事項

- ア 第51回衆議院議員総選挙の結果について
- イ その他

5 会議内容

委員長は、開会を宣し、直ちに会議に入る旨述べた。

また、議案第1号については選挙争訟に関する議案であることから、非公開とする旨述べた。

報告事項

ア 第51回衆議院議員総選挙の結果について

協議事項

（仮称）栃木県投票率向上推進プラン（第1次素案）について

選挙係長は、資料に基づき詳細に説明した。

杉田委員は、中堅・高齢層の投票率について、本県と全国の差が拡大しているという課題がある中で、各世代が選挙に行かない理由（消極的な棄権理由）に対する具体的な対策が必要である旨述べた。

委員長は、若年層への対策としては、選挙出前講座やSNSを活用した啓発などが考えられるが、中堅・高齢層の投票率向上に向けた取組として何かアイデアはあるか、事務局に問うた。

選挙係長は、商業施設への期日前投票所の設置を推進することや、バリアフリーとなっている期日前投票所に、移動支援を活用し送迎することなど、投票環境の向上が必要と考えられる旨述べた。

委員長は、投票者に占める期日前投票の割合が5割を超えた中で、当日投票所を集約する動きが進んでいる。当日投票所を集約した場合においては、移動式の期日前投票所など、代替となる手段が必要となる旨述べた。

青田委員は、日光市と那須烏山市で移動期日前投票所を設置した実績があるが、高齢化が進んでいる地域において、同様の取組が進むと良い旨述べた。

委員長は、総論として、期日前投票の割合が高まっていることから、より人が集まりやすい場所に期日前投票所を設置することに加え、移動支援を活用するなどが必要である旨述べた。

また、市町において当日投票所を集約する場合には、移動支援の拡充を併せて考えるべきであり、事務局が全国の好事例を集め、市町選管に共有することが必要である旨述べた。

委員長は、次期プランの目標を「国政選挙の投票率を全国平均並みに引き上げる」ことしたことについて、各委員に意見を求めたところ、各委員は賛同した。

また、地方選挙においては、候補者の動向により投票率が大きく左右されることから、具体的な目標を掲げていないことについて、各委員に意見を求めたところ、各委員は賛同した。

青田委員は、若年層への主権者教育において、市町の選挙をテーマにするなど、選挙をより身近に感じられるような教材の工夫が必要である旨述べた。

委員長は、事務局に対し、3月の委員会においては、今回の第1次素案について市町から意見を聴取した上で、全国の好事例を集め、具体的な取組案を示すよう述べた。

報告事項

イ「その他」

書記長は、3月の委員会の日程について、令和8年3月17日（火）午後2時から、選挙管理委員会室で開催したい旨述べ、了承された。

委員長は、本日の委員会の議事は全て終了したことを述べ、会議の閉会を宣した。